

平成 27 年 度 事 業 計 画

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

一般社団法人ソーシャルビジネスドリームパートナーズ

当団体では、2006 年にノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス氏の提唱する「ソーシャルビジネス」の考え方を広めていながら、「社会の課題を解決していこう」と挑戦されている方、これから挑戦しようとしている方の事業を応援するために、そうした挑戦者を応援したいとお考えの方々から資金をお預かりし、その基金からの出資と経営のアドバイスをを行います。今年度は、特にみんなの夢 AWARD との連携を図りながら、ソーシャルビジネスに挑戦しようとしている人（出資を希望しているの方々）たちを応援していきます。下記、本年度の当事業年度の計画です。

（1）当事業年度の計画

イベント企画への参加、セミナー／シンポジウムへの参加など積極的に活動を展開していきます。

■みんなの夢 AWARD 7 共催として実施

みんなの夢 AWARD 7 に主催として参加します。「みんなの夢 AWARD」は、社会の課題を解決し、みんなをワクワクさせ、みんなが夢をもちたくなるすてきな夢に贈られるアワードであり、夢アワードのプレゼンターは協賛企業からのサポートを得ることができる仕組みとなっています。このような仕組みで、社会の課題を解決する事業に挑戦する社会起業家を応援することを目的としています。当団体では、「ソーシャルビジネス」として事業資金として最大 2,000 万円を支援していく予定です。

【みんなの夢 AWARD 7 開催概要】

日時：平成 28 年 2 月 20 日（月）

共催：一般社団法人 ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ

主催：公益財団法人みんなの夢をかなえる会他

会場：舞浜アンフィシアター

参加者：2,200 人

■ムハマドユヌス講演の開催

「ユヌス・ソーシャルビジネス」の普及を目指し、ムハマド・ユヌス氏を招聘し開催する。

日時：2 月 20 日 みんなの夢 AWARD 7 時に開催。

対象：社会起業家、ソーシャルビジネスに関心のある層

場所：舞浜アンフィシアター

参加者：2,000 名

※同日、同場所(別企画)で、ユヌス FORUM を計画

■ソーシャルビジネス起業塾の開校

友好団体 公益財団法人みんなの夢をかなえる会へ寄付し、ソーシャルビジネス起業塾を開校。

ユヌス・ソーシャルビジネスのカリキュラムも実施

500 名参加予定

■ソーシャルビジネスセミナーの実施

企業が学生に対しキャリア教育を提供する友好団体との連携により、「ユヌス・ソーシャルビジネス」をワークショップを通じて、理解し、具体的なソーシャルビジネスモデルを構築する講座を開催する。

・みんなの夢 AWARD7 ファイナリスト向け

(2) 出資に関して

みんなの夢 AWARD 6 のファイナリストから出資を検討

大津たまみ氏他、出資を希望するソーシャルビジネス会社を検討する。

なお大津氏については具体的に計画しており、今期中に設立、事業のシングルマザーハウスをオープンする計画である。現在、ソーシャルビジネスの会社として進めている会社で、シングルマザーハウスの運営を進めています。この会社に出資し、今期 1 ホーム、中期 10 ホーム、長期 100 ホームの運営を行う計画

みんなの夢 AWARD7 からエントリー候補を模索

ユヌス氏の提唱する「ソーシャルビジネス」の考え方に沿う事業に対する「出資」の検討を行っていきます。事務局、専門家からのアドバイスのもと、出資希望者からの面談を行っていきます。当団体が主催する、みんなの夢 AWARD 7 に向けて、ソーシャルビジネス候補を選定します。

年度 1 社の出資を計画。

金額は、最大 2000 万円

(3) 出資先の経営参画

①Japan Aqua Enterprise

今後の事業方針 JAE の本来の事業である、バングラディッシュ農村地区に飲料水提供事業として、自転車搭載型浄水装置を使って、JICA の支援の下、展開する。の事業が進み、新たに BtoB 事業として、自転車搭載型浄水装置を使って、農村地区に出前ビジネスとして展開する。新たに、海水を飲料水にする為の人力海水淡水化装置に投資する。投資額は概算で 80 万円程度。

代表取締役会長：勝浦 雄一

取締役：中川直洋（一般社団法人 ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ 理事）

取締役：小田剛士（一般社団法人 ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ 監査）

【前期】

屋台の経営は、売上は、計画を大きく下回る結果となった。

再起をかけて、プロモーションなど様々な実験検証を行ったが、実績をあげる事ができず、屋台営業は断念。

【今期】

バングラディッシュにおける事業活動を行っており、当初の水事業として、JICAと連携を図り、135の学校にオリジナル自転車を開発し出荷に向けて実行していく。

この結果、農村地区における安全・安心な水事業を大きく展開でき、当社とバングラディッシュ当局とのBtoG事業として展開していく。

① (株)Prima Pinguino (株式会社G C C)

プロジェクト：統廃合の危機にある離島中山間、地域の高校魅力化を通じた地域の活性化プロジェクト

代表取締役：藤岡 慎二（ふじおか・しんじ）

取締役：中川直洋（一般社団法人 ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ 理事）

課題：離島中山間地域は人口減少に伴い少子高齢化している。少子化で高校の生徒数は減少し離島中山間地域の高校ほど統廃合の危機に瀕している。

目標：高校が魅力化することで、統廃合の対象だった高校が、生徒数が安定し、離島中山間地域も高校を中心に活性化されている。

事業概要：少子化が進む離島中山間地域の高校の魅力化を通じて、地域の活性化を図る。

高校の魅力化は①新感覚の寮生活、②高校の授業内容の変更、③公営塾の設立・運営を通じて実施する。生徒は地域内だけでなく、全国や海外から生徒を募集する。

出資金額：1000万円

【前期】魅力化プロジェクトの学校が10校と大幅に拡大し、事業として成功をおさめた。利益も確保し、初年度から配当が出る予定。

【今期】魅力化プロジェクトの学校をさらに拡大していきます。また、みんなの夢アカデミーを開校し、ソーシャルビジネス講座など、展開する。

(4) 視察 (ムハマドユヌスソーシャルビジネスデー参加)

7月にダッカで開催されるムハマドユヌスソーシャルビジネスデーに参加し、日本におけるファンド会社の説明、出資企業の事業紹介を行う予定。

(5) その他 法人サポーター制度に関して

当社団の活動の主旨に賛同していただいた方に、ソーシャルビジネスドリームパートナーズの法人サポーター（協賛）になっていただき、下記の区分により会費を頂きます

- ・法人サポーターについて 会費（年額） 50,000円
- ・募集体制：募集方法は、人的ネットワーク、公式HPなどを通じて法人の協賛を行っていきます。

■ 法人サポーターを募集し、12社以上

共催として参加した「みんなの夢AWARD6」の協賛社にお声がけを行い、法人サポーターを募集し、10社の応募・協賛がありました。協賛して頂いた企業のロゴマークを、ホームページ、広告などで露出致しました。

【平成28年度・法人サポーター】12社

アサヒビール(株) /インテリジェンス(株)/カゴメ(株)/キューピー(株)/サントリービア&スピリッツ(株)/三陽物産(株)
/昭和リース(株)/(株)スマートライフ/(株)損保ジャパン日本興亜/ハウス食品グループ本社(株)/ピーアーク(株)/ワタミ(株)

以上